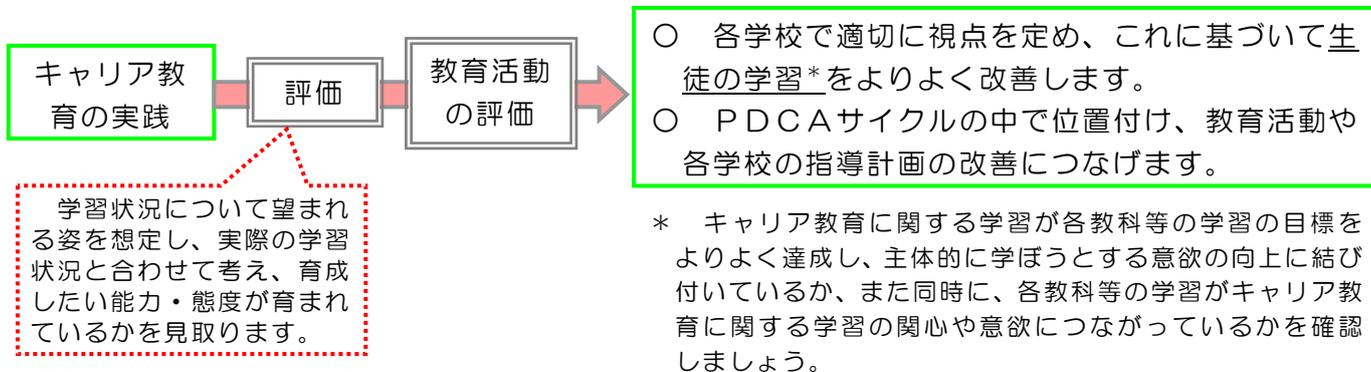


Ⅶ 評価

実践したキャリア教育について、生徒の変容等に関する評価と教育活動としての評価を行うことで、生徒のキャリア発達をより促すことができるとともに、学校のキャリア教育の一層の推進を図ることができます。



(1) 生徒の学習状況の評価の方法

キャリア教育における生徒の学習状況の評価は、生徒が指導計画等に定めている目標について、どの程度達成しているのかを把握し、育成したい能力・態度が確実に育まれるような指導へと改善するために行います。

○ 評価の方法

全ての教師が同じように判断できる評価方法や評価規準等が求められます。

評価は、様々な方法を組み合わせて実施することが大切です。

- 観察による評価
- 制作物による評価
- 生徒の自己評価・相互評価
- 他者評価

学習の過程を評価することが大切です。

計画的に評価場面を設定して学習状況を把握し、実態に応じた適切な指導を行っていくことが重要です。



(2) 教育活動の評価と改善

教育活動としてのキャリア教育全体の評価は、具体的な教育活動の改善につなげていくために行います。その際、評価の結果に基づき、教員一人一人が日常の授業や学習活動を見直し、問題点や課題の解決に取り組むことが大切になります。

○ 教育活動の評価の視点（例）

- ① 生徒は積極的に取り組んでいるか、理解をしているか。
- ② 期待した変化や効果の兆しはあるか。
 - 活動中の生徒の態度の変化
 - 目標の達成状況（実施過程中、および終了時）
 - 特に顕著な生徒の行動・態度、課題など
- ③ 目標の設定は具体的で妥当であったか。



教育活動全般の
見直し